

壮光舎印刷株式会社

TEL.03-3802-4545 FAX.03-3891-7867
URL <https://www.sokosha.co.jp>



壮光舎印刷株式会社 本社

代表者：代表取締役社長 渡辺 善広
所在地：〒116-0002 荒川区荒川8-20-1
資本金：1億円
従業員：78人

創業年：昭和6年
業種：印刷業
事業内容：総合印刷、書籍印刷、電子書籍 他

移転集約し一貫通貫の体制を整備

昭和初期に創業した老舗印刷会社で、オフセット印刷を主力としている。いち早くデジタル化を推進するなど、経営革新に積極的に取り組んでいる。平成 29 年には日本初の大型バーコ印刷機を導入した。バーコ印刷とは、オフセット印刷上にパウダーを塗布して加工する高品質の“盛り上げ印刷”を意味する。箱、包装紙、手提げ袋、ポスター、表彰状、御朱印帳などさまざまな用途が見込め、新市場の掘り起こしに力を入れている。

グループ子会社ともども、オンデマンド印刷による少数の印刷への対応や、電子書籍分野への進出など、トータル・メディア事業も推進している。今後は、この路線を強化拡充することで、現在の主要取引先である出版社以外の新規顧客を開拓し、取引先の倍増を目指している。掲げるテーマは「トータル・メディア・ソリューション」だ。

平成 30 年 12 月には本社およびグループ会社を新社屋兼工場に移転・集約し、印刷、製本、倉庫・物流の各業務を一貫通貫で手がけられる体制を整えた。それまで、オフィスや工場が点在しており、また各施設の老朽化が進んでいた。新社屋は 1 階が工場、2 階がオフィス。フロア床面積 3000 平方メートルの広々とした働きやすい空間となっており、作業効率は大幅に高まった。



工場内の様子

安全・安心と「QVS」打ち出す

同社では、「安全・安心」な印刷技術の提供をポリシーとしている。このポリシーの有言実行に向けて、品質向上 & 品質管理、個人情報保護 & 機密厳守および環境への配慮の三つを重視した経営を実践している。そのうち、品質向上 & 品質管理に関しては、ISO9001 は返上したものの、その理念・精神を引き継いだ独自プログラムを手がけている。

情報の保護・厳守においては、平成 18 年にプライバシーマークを取得して以降、個人情報保護法などに厳密に対応してきている。また、環境配慮では、平成 28 年に環境マネジメントシステムの仕様を定めた ISO14001 を取得したほか、ベジタブルインク（植物性の油インク）の活用や、クールチェーンを採り入れ省エネを追求した新社屋の建設など、地球に優しい取り組みを実行している。

安全・安心と併せて、「利益を生み出し、強い会社を作る」とのスローガンも打ち出している。スローガンの実現に向けて渡辺善広代表取締役社長は「QVS*を三本柱として、顧客満足度と収益力を高める」と戦略・戦術を語っている。QVS*を通して、顧客に感動を与えるレベルの品質の保持や、すぐやる習慣・高い提案力を身に付けることが強い会社に直結する、としている。

※ Q：クオリティ、V：バリュー、S：ソリューション

機械・設備×人材のシナジー発揮



かねてより最新テクノロジーの導入・活用に力を入れている。4/6 全判両面 4 印刷機などの最新マシンの設置や、高速ネットワークの利用、デジタル検査によるシステム化された検版体制の構築などがその具体例となる。

一方で、会社の基礎は人であると考え、人材の育成にも重きを置いている。社員の階層ごとの社外研修体制を用意し、取得した各種資格に応じて給与をアップさせる仕組みも設けて、モチベーションを高めている。

こうした機械・設備と人材のシナジー（相乗効果）を発揮できるのが当社の強みと自負している。そのシナジーにより「綺麗な・早い・丁寧な」印刷を実現して、300 社を超える顧客の厚い信頼を得ている。

◎主な認証・実績等

- ・CSR 認定制度、ワンスター認定取得
- ・ISO14001 認証取得
- ・プライバシーマーク取得
- ・グリーンプリンティング工場認定
- ・昭和 41 年 中小企業庁長官より中小企業合理化モデル工場に指定
- ・昭和 61 年 定年制を含む雇用安定に関し労働大臣表彰
- ・昭和 63 年 全国造本装幀コンクールにて通産大臣賞受賞 他、表彰多数

◎主な保有設備

- ・CTP 2 台 ・POD 一式
- ・四六判全 4 色刷両面機 1 台 ・A 全判 5 色刷片面機 1 台
- ・A 全判 UV 4 色刷片面機 1 台 ・オフライン品質検査装置 1 台
- ・製本ライン完備（トライオート、自動包装機等）
- ・他、プリプレス設備 ・印刷設備等多数